

妻の気持ち

VOL.21

内閣府が行う調査「国民生活白書」の平成十五年版では、二十～三十四歳の夫婦を妻の働き方別に比較しています（別表参照）。その中で、夫と妻の生活満足度は、自身の収入が多い世帯の夫ほど高くなるのに対し、妻はその逆を示しています。そこには、働くことで自由に使えるお金が増えても、仕事と家事の両立に苦しみ、時間的余裕も無く、「今の暮らしへの満足度は低くなる」妻の姿があります。

また、昨年十一月十一日の市民大学講座「平山順子名大助教授」の中で、「夫の結婚への満足度は結婚後十年ぐらいたまぐツと高まり、その後緩やかに低くなっていく」のに対し、「妻のそれは結婚後十年ほどまでわずかに上昇し、その後急激に下がる」、その結果、「結婚して十五年がたつころには、夫と妻の結婚満足度は大きく違ったものになる」とい

夫が正社員である世帯の家計状況

夫婦の働き方	収入 (万円/年)		自由に使えるお金 (万円/月)		生活満足度 (%)	
	世帯収入	夫の収入	夫	妻	夫	妻
共働き世帯	746	451	3.2	2.3	72.4	67.8
妻パート世帯	495	396	2.3	1.6	61.9	70.0
専業主婦世帯	488	427	2.1	1.0	67.0	75.7

というデータが示されました。どちらのデータにも、満たされない思いを抱え、日々を暮らしている妻の姿が浮かび上がってきます。「うちは大丈夫」と思っていないか。毎日の会話の中で相手が伝えたいことは、あなたが理解していることと本当に同じですか。今は、お正月という普段とちよつと違う設定です。ぜひ、たくさん話をしましょう。生活満足度＝現在の生活にどの程度満足していますかという質問に対し、満足しているどちらかといえば満足していると回答した人の割合

教育夢発信

子どもたちの歓声が響きわたった「ときめき!国際ナショナル・パーティー・イン・土岐」



去る十一月十二日(土)、市教育委員会主催の小・中学生国際交流事業を下石小学校で開催しました。絶好の晴天に恵まれ、秋の一日を、持て余すことなく有意義に過ごすことができました。

今年は、名古屋近郊に在住の大学留学生とJICA研修生、合わせて二十七人の外国青年が集まっていただけでした。中国、韓国、ベトナム、マレーシア、ナミビア、アメリカ、オーストラリア、スリランカの八カ国から一同に会した彼らは、外見も言語も習慣も違います。そんな彼らと一日を共にした市内の小・中学生三十六人は、喜びと満足の声をあげ、「来年も参加したい」と口々に話していました。



当日は、「アイス・ブレイキング・タイム」と題した、お互いの緊張を解きほぐして仲良くなるゲームを皮切りに、グループ対抗の「クイズ大会」、ランチ・パーティをほさみ「グラウンドゴルフ」、フリスビーを使った「ドッジビー」とことん楽しみ、お互いの親交を深めました。最後の「お別れセレモニー」では、お互いにメッセージを交換し、再会を約束し合って、別れを惜しみませんでした。帰路に就く外国青年を見送る子どもたちの目には、名残惜しさと今日一日の充実感が漂っていました。子どもたちのすがすがしい笑顔を見ながら、彼らが今後の土岐市の国際化や、国際交流の一翼を担ってくれることを期待せずにはいられませんでした。